

ひらがなが書かれたカードを
めくってかくして言葉をつむぐ
ひらめく言葉をみんなでなべる

1.内容物

- ・かなカード 75枚



オモテ



ウラ

2.ゲームの概要

「かなべる」は、ひらがなの書かれたカードを並べたり、合わせたり、重ねたりして単語を作るゲームです。

1枚のカードには、表面と裏面にそれぞれ2文字ずつひらがなが書かれています。

どちらの面を使うか、どの文字を見せるかを選びながら、手札の中から作れる単語を探します。

ルールは「ならべる」「あわせる」「かさねる」の3種類があります。

3.単語の作り方

- ・カードを使うときは、表面か裏面のどちらかを選びます。
- ・カードを並べて単語を作ります。
- ・カードは、少なくとも1つは文字が見えるように置きます。
- ・単語として読む直線上に、単語に使わない文字があってもはいけません。
- ・カードには濁点と半濁点は書かれていますが、必要に応じて自由につけられます。
- ・「や」「ゆ」「よ」「つ」は、必要に応じて「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」として扱えます。
- ・作った単語は、全員がOKと判断すれば成立です。

○カードを横に並べる



じゃはん

×単語に必要な文字が見えている



しかく

○カードを重ねて1文字隠す



やさい

×完全に隠れているカードがある



かんばい

4.ならべる

1.目的

手札のカードを並べて単語を作り、得点を競います。

長い単語ほど得点が高くなりますが、単語に使えなかったカードは失点になります。

制限時間内にできるだけ得点の高い単語を作り、手札をむだなく使うことを目指します。

2.準備

各プレイヤーは、山札からランダムに7枚を受け取ります。

3.進め方

制限時間は3分です。

開始の合図で全員が一斉に手札のカードを自分の前に並べ、単語を作ります。

カードは、表面と裏面のどちらを使っても構いません。

ただし、カードは必ず横向きに置きます。回転させて置くことはできません。

横に並んだカードは見えている文字を左から右にすべて読んで1つの単語にします。

一部の文字を隠すためにカードを重ねて置くこともできます。

単語を作り終えたプレイヤーは、制限時間内でも「完成」を宣言できます。

「完成」を宣言したプレイヤーはカードから手を離し、その後はカードを動かさせません。

制限時間が終わったら全員がカードから手を離します。

その後、それぞれが作った単語を確認し、得点を計算します。

4.勝敗

作った単語の文字数が得点になります。得点になるのは、3文字以上の単語です。

各単語は、両端の文字を得点に数えず、残った真ん中の文字数がその単語の得点になります。

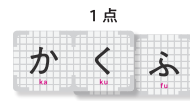
たとえば、3文字の単語は1点、4文字の単語は2点です。

他のカードと組み合わせしていないカード(2文字のみのカード)は1枚につき-1点です。

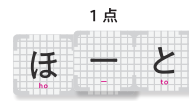
すべての単語の得点を合計し、失点を差し引いた点数が、そのプレイヤーの得点です。

もっとも得点が高いプレイヤーが勝者です。

得点と同じ場合は、より早く「完成」を宣言したプレイヤーが勝者です。



かくふ



ほーと



しょうか



さか

1点 + 1点 + 2点 - 1点 = 3点

5.あわせる

1.目的

場札の文字と手札の文字を合わせて、縦や横につなげて新しい単語を作ります。

単語に使った手札はそのまま残り、次のプレイヤーが使う場札になります。

場札の文字をうまく利用しながら手札を減らし、手札を0枚にすることを目指します。

2.準備

・各プレイヤーは、山札からランダムに7枚を受け取ります。

・山札の上から1枚めくり、場札として中央に置きます。

・最近何かを「あわせた」人がスタートプレイヤーとなり、そこから時計回りに手番を行います

3.手番

制限時間は1分です。1分以内にカードを出せなかった場合は自動的にパスになります。

自分の手番では、次のどちらかを行います。

A. 手札を出す

手札から1枚以上のカードを出し、場札の文字を必ず1文字以上使って、単語を1つ作ります。

カードと、単語に使う場札の文字は縦か横の直線上に並ぶように置く必要があります。

手札から出したカードで見えている文字は、すべてその単語に使う必要があります。

直線上に見えているのに読まない文字がある置き方はできません。

単語は、左から右、右から左、上から下、下から上のどの向きに読んでもかまいません。

カードを上下反転して置き、左から右に読むこともできます。

新しくカードを置いたことで、それまで作られていた単語が読めなくなってもかまいません。

ただし、場札の下に、手札から新しいカードを差し込むことはできません。

B. パスする

手札を出せない場合や、出たくない場合は、パスを宣言して自分の手番を終了できます。

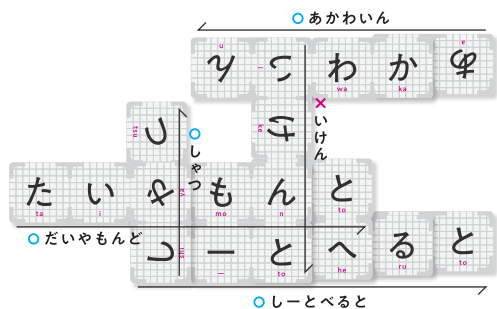
再び自分の手番が来たときには、また手札を出すことができます。

4.手札交換

任意のタイミングで、手札から1枚選んで捨て札にし、山札から2枚引いて手札に加えます。

手札交換は、自分の手番でなくてもできます。

山札が無くなった場合は、捨て札をシャッフルして山札にします。



5. ゲームの終了と勝敗

- ・いずれかのプレイヤーの手札が0枚になったら、スタートプレイヤーの右隣のプレイヤーまで手番を行いゲームを終了します。
- ・手札が0枚のプレイヤーが勝者です。
- ・手札が0枚のプレイヤーが複数いる場合、その全員が勝者です。

6. かさねる

1. 目的

場札に手札を重ねて、横一列の単語を1つ作ります。
場札に見えている文字を使いながら手札を減らし、最初に手札を0枚にすることを目指します。

2. 準備

- ・各プレイヤーは、山札からランダムに7枚を受け取ります。
- ・山札の上から1枚をめくり、場札として中央に置きます。
- ・最近何かを「かさねた」人がスタートプレイヤーとなり、そこから時計回りに手番を行います。

3. 手番

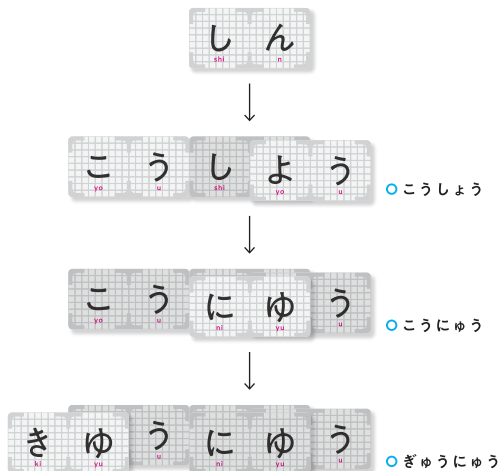
制限時間は1分です。1分以内にカードを出せなかった場合は自動的にパスになります。
自分の手番では、次のどちらかを行います。

A. 手札を出す

手札から1枚以上のカードを出し、場札の文字を必ず1文字以上使って、単語を1つ作ります。
必要に応じて、場札の横につなげて置くこともできます。
縦方向の単語や、複数の単語を作る置き方はできません。
手札から出したカードで見えている文字は、すべてその単語に使います。
作った1単語が全員にOKと判断されたら、出したカードは場札になります。
ただし、場札の下に、手札から新しいカードを差し込むことはできません。

B. パスする

手札を出せない場合や、出たくない場合は、パスを宣言して自分の手番を終了できます。
場がリセットされた後や、再び自分の手番が来たときには、また手札を出すことができます。



4. 場札をリセットする

以下のどちらかの条件を満たした場合、場札はリセットされます。

- ・最後にカードを出したプレイヤー以外の全員がパスした場合
- ・手番プレイヤーが7文字以上の単語を作った場合

場札をリセットするとき、すべての場札を捨て札にします。

その後、山札の上から1枚をめくり、裏面を新しい場札として中央に置きます。

最後にカードを出したプレイヤーが手番プレイヤーとなり、新しい場札からゲームを再開します。

5. 手札交換

任意のタイミングで、手札から1枚を選んで捨て札にし、山札から2枚引いて手札に加えます。

手札交換は、自分の手番でなくてもできます。

山札が無くなった場合は、捨て札をシャッフルして山札にします。

6. ゲームの終了と勝敗

いずれかのプレイヤーの手札が0枚になったら、即座にゲーム終了です。

手札が0枚のプレイヤーが勝者です。

7. かなべるタイマー

「かなべる」には、Webでサクッと使える専用タイマーがあります。

ゲームが遊びやすくなるカウントダウン音やアラーム機能付きで、Webからすぐに使えます。

使い方

1. モード選択

ゲームの進行に合わせて、画面上部のボタンからモードを選択します。

- ・ならべる (3分) : 全員で一斉に文字を並べる時間用
- ・あわせる・かさねる (60秒) : 1ターンごとの手番時間用

2. スタートする

「タイマーをスタート」ボタンを押して計測を開始します。

スマートフォンの音量をオンにしておく、残り30秒・20秒・10秒のタイミングと、時間切れの時に音が鳴ります。

3. 一時停止

作られた言葉が本当に存在するかどうかを辞書などで確認・審議する際は「一時停止」ボタンを押して時間を止めてください。

4. プレイヤーを交代する (60秒モード時)

「あわせる・かさねる」の60秒モードでは、自分の手番が終わった時やパスをする時に「次のプレイヤーへ」ボタンを押すことで、続けて次の人の60秒の計測をスタートできます。



8. #かなべる新ルール

かなカードを使ったオリジナルルールを大募集!

× (旧Twitter) でハッシュタグ「#かなべる新ルール」をつけて、あなたの考えた新しい遊び方をポストしてください。

素晴らしいアイデアは、公式サイトで採用・掲載されるかも!?

さらに、本作のルールである「な・ら・べ・る」「あ・わ・せ・る」のように、ルールの名前が「母音が『あ・あ・え』+最後が『る』」の法則になっていると大歓迎です! 詳しい情報は、右記QRコードからサポートページをチェックしてください。



かなベル
タイマー



サポートは
こちら